

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび、以下の研究を実施いたします。**本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。**

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】NCNPにおける新型コロナウイルス研究体制の構築

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター病院 精神診療部 第二精神科医長 野田 隆政

【本研究の目的及び意義】

COVID-19感染者は、身体的苦痛だけでなく心理的苦痛にも脅威を与える深刻な外傷性イベントとして広く認められています。そこで本研究では、COVID-19に罹患した精神疾患の患者さんの薬物療法の種類や量、診療で使用された検査データ(数値データ)について、カルテ内から調査することで、患者さんの健康維持に貢献することを目的としています。

※なお、本研究開始時(2021年5月24日)では、入院時に研究にご協力頂ける方を対象に書面での説明・同意を頂いておりましたが、2021年9月下旬以降、COVID-19患者数が減少し(2021年11月以降、常時1~2名の入院)、想定していた予定症例数の収集が困難であると判断いたしました。そこで、データ解析の質を確保するうえでも、本研究が開始される以前に当院に入院していた方(2020年6月9日~2021年5月23日)の診療上のデータも含めて検討することといたしました。なお、データを使用されたくない場合には、下記問い合わせ窓口までご連絡ください。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2020年6月9日から2021年5月23日までに当院のCOVID-19専用病棟に入院された方

利用する試料・情報等

情報等:診療録

(性別、発症年齢、罹病期間、精神病性の特徴の有無※、入院時の薬物療法とその経過、入退院時の臨床症状※、臨床データ、最終寛解維持薬)

※入院中に実施した精神症状の評価を含みます(うつ症状(HAM-D、MADRS)、躁症状(YMRS)、精神病性の症状(PANSS)など)。

研究期間

2021年5月23日より2026年3月末日まで

2021年12月

問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 病院

所属 精神診療部 氏名 野田 隆政

電話番号 042-341-2711(代)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail:ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)